

柏崎市地球温暖化対策実行計画 令和 2 (2020) 年度報告

第 1 章 区域施策編 (市域の温室効果ガス排出量)

1 温室効果ガスの削減目標

温室効果ガスの総排出量を、基準年度に比べて R3(2021)年度に 12%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 926 千 t-CO ₂
短期目標年度	R3 (2021)年度 815 千 t-CO ₂ (▲12%)
中期目標年度	R12(2030)年度 685 千 t-CO ₂ (▲26%)

2 実施状況

H26(2014)年度	885 千 t-CO ₂ (▲4.4%)
H27(2015)年度	866 千 t-CO ₂ (▲6.4%)
H28(2016)年度	853 千 t-CO ₂ (▲7.8%)
H29(2017)年度	838 千 t-CO ₂ (▲9.5%)
H30(2018)年度	783 千 t-CO ₂ (▲15.4%)

3 結果

H30(2018)年度の排出量は、基準年度から 15.4%削減となりました。毎年度排出量は基準年度から減少しており、H30(2018)年度で、短期目標を達成しました。市全体の温室効果ガス排出量削減に向けて、今後も市民や事業所の省エネ化を継続して推進します。

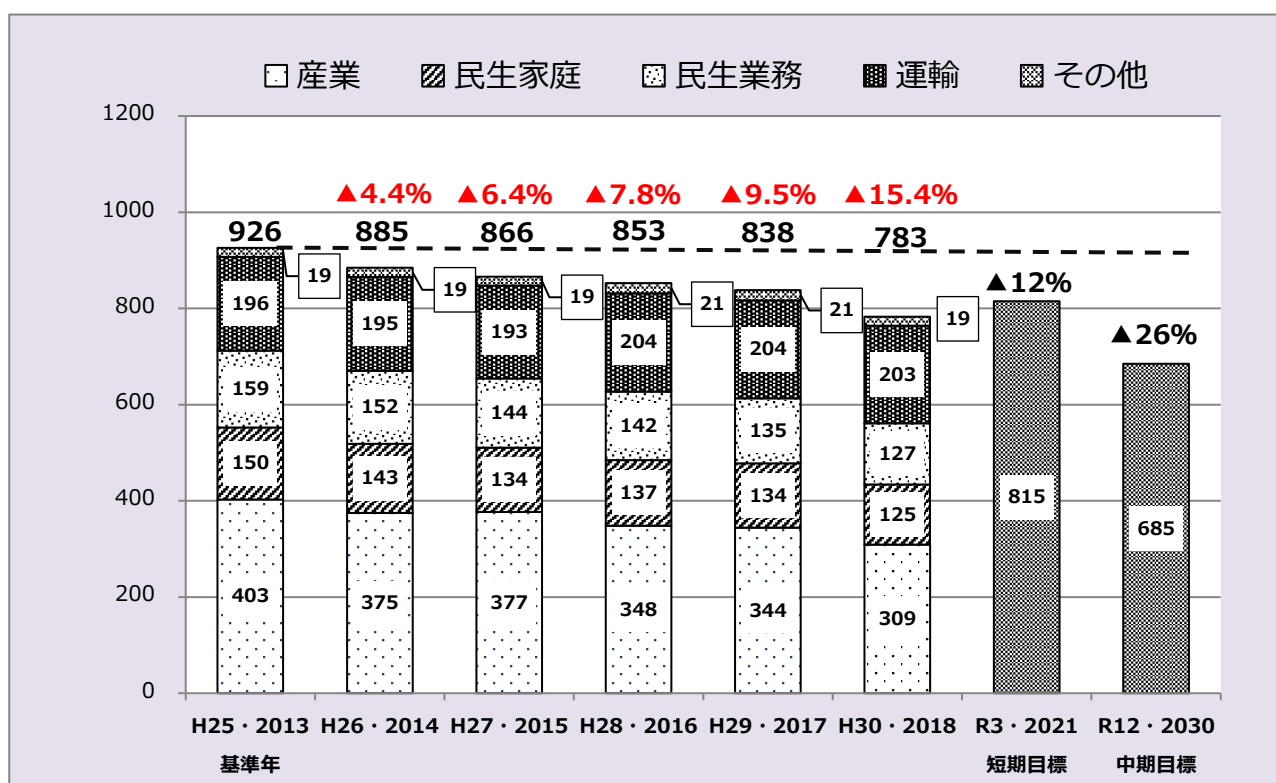


表 1 柏崎市の温室効果ガス排出量・目標 (単位: 千 t-CO₂)

方針1 再生可能エネルギー・地域資源の有効活用 目標指標

■「柏崎市地域エネルギービジョン」の策定

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
-	未策定	策定	策定済	策定済	H29(2017)年度 策定

■太陽光発電を設置した公共施設数 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	14 施設	30 施設	28 施設 (+3 施設)	25 施設 (+2 施設)	23 施設 (+4 施設)

■木質ペレットストーブを設置した公共施設数 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	8 施設	15 施設	11 施設 (0 施設)	11 施設 (0 施設)	11 施設 (0 施設)

■造林事業面積 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	162ha	720ha	518.9ha (+63.8ha)	455.1ha (+77.9ha)	377.2ha (+84.9ha)

方針1 R2(2020)年度の取組実績等

施策	内容
再生可能エネルギーの導入・有効活用の推進	公共施設に太陽光発電設備（3 施設）及び地中熱利用設備（1 施設）を導入 周知啓発セミナー開催（2 回、142 名参加）
再生可能エネルギーを活用した電力・熱供給事業（スマートコミュニティ）の推進	地球温暖化対策推進本部から公共施設の改修に対して温暖化対策に資する改修方法を提案
木質バイオマス資源の利活用事業の推進	補助金により木質ペレット・薪ストーブの購入を支援
バイオディーゼル燃料の利活用事業の推進	クリーンセンターかしわざきの施設内車両に BDF を使用（使用量 1,452ℓ）
その他バイオマス資源・未利用エネルギーの有効活用	自然環境浄化センターにおける消化ガス発電事業
植樹活動や里山保全事業などによる森林保全の推進	「緑の募金」植樹事業に 8 団体が植樹活動を実施

方針2 家庭、事業所及び地域における省エネルギー普及の加速 目標指標

■EC02 プロジェクト参加登録事業者数 () 内は新規参加登録事業者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	222 事業者	300 事業者	232 事業者 (-1 社)	233 事業者 (-5 社)	238 事業者 (+4 社)

■低炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金補助件数 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	61 件	200 件	162 件 (+27 件)	135 件 (+22 件)	113 件 (+23 件)

区分(単位:件)	R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
燃料電池設備	12	11	9
ガス発電・給湯暖房設備	—	—	0
地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備	0	0	0
木質バイオマスストーブ	4	7	9
HEMS+蓄電池	5	2	0
太陽光発電設備+HEMS+蓄電池	6	2	5

表2 炭素型創エネ・省エネ機器導入補助金交付内訳

■うちエコ診断受診世帯数 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	未実施	50 世帯	13 世帯 (0 世帯)	13 世帯 (0 世帯)	13 世帯 (+6 世帯)

■省エネ診断受診事業者数 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	3 事業者	13 事業者	4 事業者 (0 件)	4 事業者 (0 件)	4 事業者 (0 件)

■エコアクション21取得事業者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	23 事業者	30 事業者	14 事業者	18 事業者	19 事業者

■LED街路灯の設置 () 内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	3,569 灯	12,523 灯 (市内全灯)	10,369 灯 (+1,093 灯)	9,276 灯 (+1,375 灯)	7,901 灯 (+1,559 灯)

方針 2 R2(2020)年度の取組実績等

施策	内容
EC02 プロジェクトの推進	参加登録事業者 232 事業者
低炭素型創エネ・省エネ機器、LED 照明の導入促進	補助金により低炭素型創エネ省エネ機器の導入を支援 EC02 ポイントを活用した省エネ機器等の導入支援
スマートハウス・ビルの普及啓発	補助金により HEMS を含む低炭素型創エネ・省エネ機器の導入を支援
建築物の省エネ改修、設備導入支援	市役所庁舎に地中熱利用空調設備、高効率機器、LED 照明取り入れた工事を実施。松波町住宅 D 号棟、荒浜小学校トイレ、鯖石保育園の照明器具 LED 化を実施。
うちエコ診断・省エネ診断受診の推進	毎年度イベントスペースにおいて実施していたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止となったため、実施していない。
環境経営システムの導入支援	EC02 プロジェクトにおける対象行動として周知

方針3 低炭素型交通の推進 目標指標

■電気自動車等普及台数 ()内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	129台	200台	220台 (+6台)	214台 (+20台)	194台 (+19台)

■ノーマイカーウイーク参加事業者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	125事業者	150事業者	—	83事業者	106事業者

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

■ノーマイカーウイーク参加者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	5,212人	6,000人	—	5,853人	5,131人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

■エコドライブ講習会実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	1回	5回	—	2回	0回

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

■エコドライブモニター実施者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	11人	30人	—	350人	266人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

方針3 R2(2020)年度の取組実績等

施策	内容
電気自動車等導入促進	普及台数において、令和2(2020)年度に累計目標台数200台を達成した。
電気自動車等に関する技術開発・製品開発研究・開発支援	市内の電気自動車販売店と協力し、試乗体験イベントの実施を計画しようとしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施していない。
公共交通ネットワークの再構築	市役所移転に合わせて、令和3(2021)年1月から市街地循環バス「かざぐるま」の経路変更を行った。(翔洋校前へ延伸させ、類似ルートで運行していた臨海工業団地線を廃線にした。)この経路変更により、運行の効率化が図れたとともに、これまで「かざぐるま」を利用していなかった翔洋校生徒などの新規利用者を獲得することができた。
ノーマイカーウィークの普及啓発促進	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。
エコドライブの普及啓発促進	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。

方針 4 地域力発揮のための社会環境整備 目標指標

■環境リーダー養成講座受講者数 ()内は年度計

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
累計	2人	7人	12人 (+5人)	7人 (+1人)	6人 (+1人)

■地球温暖化防止活動推進員数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	2人	5人	3人	2人	3人

■環境教育プログラム実施校数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	未実施	32校(全校)	8校	4校	10校

■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施回数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	5回	10回	3回	4回	15回

■ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の受講者数

年度計・累計	基準年度値 H27(2015)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R2(2020)年度	R元(2019)年度	H30(2018)年度
年度計	350人	600人	182人	381人	887人

方針 4 R2(2020)年度の取組実績等

施策	内容
環境リーダーの養成	柏崎地域から5人受講
地球温暖化防止活動推進員の増員	令和2(2020)年度時点2名
小中学生向け環境教育プログラムの実施	環境教育プログラム(出前授業)の実施(小学校8校)
ふれあい講座・エコ教室・エネルギー関連施設見学会の実施	保育園児に向けたエコ教室を3園で実施
環境・エネルギー産業事業化への調査・研究・支援	地域エネルギー会社事業化検討調査を実施。地域エネルギー会社設立検討・準備会を組織し、地域エネルギー会社(仮称)事業計画書(案)を取りまとめた。
地場産農作物の積極的利用	学校給食での地場産農産物供給量 224,362 kg 学校給食での地場産農産物使用割合 46.4%

第2章 事務事業編（市の事業からの温室効果ガス排出量）

1 温室効果ガスの削減目標

市の業務から発生する温室効果ガス総排出量を、基準年度に比べてR3(2021)年度に19%削減する。

基準年度	H25(2013)年度 36,914 t-CO ₂
短期目標年度	R3(2021)年度 29,900 t-CO ₂ (▲19%)
中期目標年度	R12(2030)年度 22,148 t-CO ₂ (▲40%)

2 実施状況

H30(2018)年度	34,108 t-CO ₂ (▲7.6%)
R元(2019)年度	35,763 t-CO ₂ (▲3.1%)
R2(2020)年度	32,987 t-CO ₂ (▲10.6%)

3 結果

R2(2020)年度の温室効果ガス排出量は、基準年度から10.6%削減となりました。ごみの排出量は年々減少傾向にあります。主な要因として、廃棄物焼却量の減少と、資源物回収量の向上が考えられます。

事務事業編は、市の業務から排出される温室効果ガス排出量が対象であるため、家庭から搬出されるごみの焼却に伴う業務も対象となります。今後も職員に対して、環境に配慮した行動の呼びかけなど温暖化対策への啓発を続けていきます。

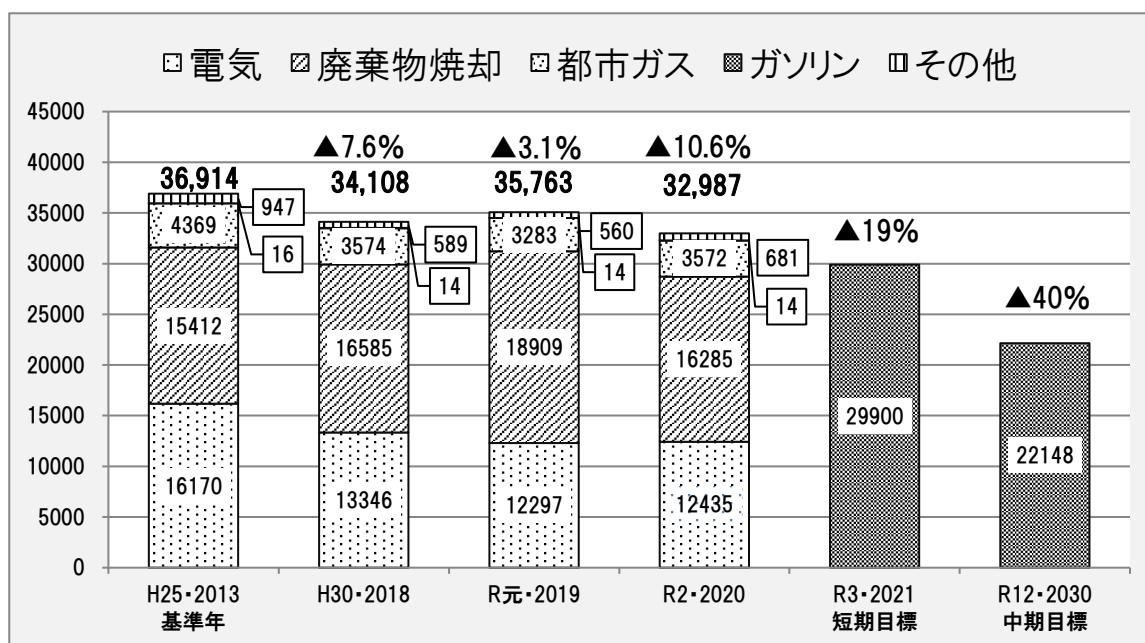


表3 柏崎市の事業からの温室効果ガス排出量・目標 (単位: t-CO₂)